北九州工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	国語Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	0005	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	生産デザイン工学科（電気電子コース）	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	「新高等学校国語総合」明治書院 、『意味で覚える漢字トレーニングセレクト』いいずな書店		
担当教員	豊田 圭子		

到達目標

1．論理的な文章を読み、構成や展開に基づいて論旨を理解し、要約することができる。
2．文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。
3．古文・漢文を正しく音読し、リズムや韻などを味わうことができる。短歌・俳句・現代詩の表現を学び、自ら創作できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	論理的な文章の構成・展開を正しく理解し、要約した上で、自分の意見を表すことができる。	論理的な文章の構成・展開を正しく理解し、要約できる。	論理的な文章の構成・展開を理解、要約することができない。
評価項目2	文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。また、代表的な文学作品の日本文学史上における位置を理解できる。	文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。	文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などの効果を説明できない。
評価項目3	古文・漢文を正しく音読し、リズムや韻などを味わうことができる。短歌・俳句・現代詩の表現を学び、熟語・ことわざ・慣用句などの知識を活用し、自ら創作できる。	古文・漢文を音読し、リズムや韻などを味わうことができる。短歌・俳句・現代詩の表現を学び、創作できる。	古文・漢文を正しく音読し、リズムや韻などを味わうことができる。短歌・俳句・現代詩の表現を学び、創作することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本授業では、１年次より高度な、論理的コミュニケーション能力を養い、幅広い日本語・日本文学の知識に立脚する理解と表現の力を確立することを目的とする。文章理解を通じて豊かな人間性を培う。漢字・語句の学習を行い、日本語の語彙力を向上させる。レポートや口頭発表を通じて、表現力・文章力を涵養する。なお、本授業は文系科目における科目間連携の充実を目指した授業である。
授業の進め方・方法	精選された文章を読み、教員との質疑応答を通じて理解・見識を深める。
注意点	次回学習する単元を予習してくること。配布する参考資料や課題等を、各自整理すること。問いに対して簡潔明快な答えで回答すること。辞書類、国語便覧を活用し、積極的に疑問を投げかけてほしい。漢字検定４～２級程度の読み書きができる・語彙力を養うため、授業では漢字小テストを実施する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス 随想（１）	授業の目標と概要の説明。 文章中に出てくる難解な語句の意味を調べ、理解する。
		2週	随想（２）	随想の構成・文章の展開を理解する。
		3週	随想（３）	筆者の考え、心情を正しく読み取り、文章を要約することができる。
		4週	小説（１）	文章中に出てくる難解な語句の意味を調べ、理解する。通読し、話の展開を摑むことができる。
		5週	小説（２）	小説の登場人物の描写から心情や状況を読み取ることができる。
		6週	小説（３）	各登場人物の関係や、小説の主題を理解することができる。
		7週	中間試験	１～６週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
		8週	試験解説 短歌・俳句（１）	試験の内容を理解し、不正解だったところはなぜ不正解だったのかを考える。 短歌・俳句を読み、背景にある状況を理解する。
	2ndQ	9週	短歌・俳句（２）	自ら短歌・俳句を創作できる。作品を発表し、他者の作品を鑑賞できる。
		10週	古文（１）	身近な古文表現に親しみながら、古典文法・表現を理解する。
		11週	古文（２）	物語の作者と作品成立について学ぶ。 助動詞の用法を学び、現代語訳するこができる。
		12週	古文（３）	物語を読み、登場人物の関係性を理解する。登場人物の人間像をとらえる。
		13週	古文（４）	日記・随筆の作者と作品成立について学ぶ。他作品との関係を理解する。
		14週	古文（５）	日記・随筆の内容から、作者の心情を読み取ることができる。
		15週	期末試験	８～１４週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
		16週	試験内容の解説	試験の内容を理解し、不正解だったところはなぜ不正解だったのかを考える。
後期	3rdQ	1週	評論（１）	文章中に出てくる難解な語句の意味を調べ、理解する。文章の構成・展開を理解する。

		2週	評論（２）	筆者の主張を文章から読み取る。 主張を踏まえた要約をすることができる。
		3週	小説（１）	文章中に出てくる難解な語句の意味を調べ、理解する。文学について造詣を深める。
		4週	小説（２）	小説の登場人物の描写から心情や状況を読み取ることができる。
		5週	小説（３）	各登場人物の関係や、小説の主題を理解することができる。
		6週	詩（１）	各詩人の詩を読み、リフレインなど詩の特徴・効果を説明することができる。
		7週	詩（２）	学習した詩の特徴・効果を踏まえて自ら死を創作できる。他者の詩を鑑賞できる。
		8週	中間試験	１～７週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
	4thQ	9週	試験内容の解説 漢文（１）	試験の内容を理解し、不正解だったところはなぜ不正解だったのかを考える。 身近な漢文表現に親しみながら、訓読の基礎を学ぶ。
		10週	漢文（２）	漢詩のきまりやリズム、韻を学ぶ。
		11週	漢文（３）	正しく本文を訓読することができる。 訓読文から現代語訳をつくることができる。
		12週	漢文（４）	内容を正確に把握し、故事の意味を考えることができる。 本文の白文に訓点を付すことができる。
		13週	評論（１）	文章中に出てくる難解な語句の意味を調べ、理解する。文章の構成・展開を理解する。
		14週	評論（２）	筆者の主張を文章から読み取り、要約することができる。 学習した評論に対し、自らの意見を発表することができる。
		15週	定期試験	９～１４週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
		16週	試験内容の解説	試験の内容を理解し、不正解だったところはなぜ不正解だったのかを考える。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	2	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	

評価割合

	試験	小テスト	課題	課題テスト	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	10	20	10	0	0	100
基礎的能力	60	10	20	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0